令和 6 年度事業計画作成にあたって

理事長 柳瀬 敏夫

コロナによる様々な制限が緩和され、従来の取り組みを再開するとともに、いったん停滞した活動を活性化させていきたいと考えております。しかしながら、コロナ感染が無くなかった訳でもなくインフルエンザ等の感染の広がりなどもあり、今後も感染症対策を継続しつつ法人運営に取り組みたいと考えております。

さて、令和 5 年度の事業運営についてですが、従来の感染等対策を基本的には継続しつつ、利用者皆様の所得保障としての就労支援、レクリエーション活動の再始動に取り組んできました。特に感慨深かったのは 3 年ぶりとなる『利用者の大運動会』や法人関係者が一同に集う『法人新年会』を実施できたことです。また、地域連携としまして田辺市新庁舎移転に伴う売店・カフェ部門の運営については西牟婁圏域自立支援協議会就労支援部会と協働し令和 6 年 5 月のオープンを予定しております。法人内の課題としては、利用者の重度高齢化問題に関しての家族・当事者のニーズに対応するため、生活支援施設の拡充や職員の質の向上に関しての取組みに関し検討を行ってきました。また古道ヶ丘の移転問題が浮上しており、旧中辺路町内での物件及び土地探しについて、田辺市と協議を重ねております。新規に運営を開始しましたハモニティー分棟「stretch+」では、健康対策・授産活動を併用しながら短時間利用・隔日利用など終日利用への対応が難しい利用者のニーズに対応しつつ事業運営を行っております。

通年の課題となっております「高齢ニーズへの対応」、「就労継続支援 B 型の工賃向上」、「郡部における利用者の減少」、「地域福祉を担う人材不足」、「改正される制度への対応」等、懸案事項は数多くあります。5 年度では「虐待防止法の完全義務化」これに伴う「虐待防止委員会」の設置と活動に取り組んでまいりました。また、令和 6 年度に向けては B C P（事業継続計画）の策定義務化に向けて各事業所で B C P の策定を進めており、令和 6 年 4 月には全事業所で策定する予定となっております。また、市街地での取り組みの活性化を目的として、旧市内近辺の就労継続支援 B 型事業所 4 事業所で構成される会議（通称：4 B 会議）では、休日開所の設定や平日の勤務形態の調整を行いつつ、高齢化する利用者のニーズへの対応を話し合い、通所率の向上等を目指しております。

令和 6 年度に向けては、このような「運営課題」に対し、法人内にて諸会議を持ち十分な検討を行い、各事業所所長とは事業計画に対してのヒアリングを行い事業計画の作成を行いました。今後も利用者ニーズの汲み取り、ニーズへの対応を早急に行える体制づくりを検討しながら、法人事業計画及び各事業所個別の計画に沿って、より質の高い支援を提供できる運営を行えるよう努力したいと考えております。

令和6年度 法人事業計画

(基本方針)

1. 利用者視点に立った円滑な福祉サービス事業の展開

社会福祉法人としての強みを生かしながら、実践においては、障害者虐待防止法・障害者差別解消法等の意識づくりをさらにすすめ、利用者の人権を尊重し、個別のニーズに沿った支援を提供していきます。また、障害者総合支援法の特徴と課題を踏まえた事業展開を行います。

- ① 地域での不安や悩み、生活に関する希望を実現することを目的として各種社会資源に繋げていく相談支援体制の充実。
- ② グループホーム等の充実と希望に見合う住まいの開拓。
- ③ 所得保障ニーズに対応する授産メニューの維持・開発と就労支援のさらなる充実を踏まえた旧田辺市街における4事業所連携の推進
- ④ 余暇及び生きがいに視点を置いた社会参加型事業の充実。
- ⑤ 過疎・山間地域において地域格差を生まない支援体制の充実。
- ⑥ 利用者が個々の希望や具体的な生活を決定していく意思決定支援の充実。
- ⑦ 合理的配慮に基づく、必要な事業所やホームの整備。
- ⑧ 高齢化する障害者の支援体制の充実としての生活介護事業の導入検討の推進。

2. 財務運営

- ① 制度改定を踏まえ、毎月、法人全体の充実財産試算表を作成し、更なる計画性を持った運営を行っていきます。また、法人全体が関わる事業については、その評価について研修等でも実施し、これまで以上に必要性を共有した取り組みを行います。
- ② 資産の有効活用等、円滑な運用を図っていきます。
- ③ 利用者ニーズに基づいた建物及び設備への計画的な投資を行うことで、利用実績の強化と安定を図る取り組みを行っていきます。
- ④ 職員の安定雇用を実現するため、定期昇給制度を維持するための努力を行っていきます。

3. 人材の確保・育成と長く働き続けられる仕組みづくり

昨今の社会福祉現場における大きな課題として「人材の確保、育成」がクローズアップされてきていることに鑑み、法人として以下の点について意識的に取り組みます。

- ① 「人事規程」に基づき、管理者間のヒアリング会議を行い、年間の人事状況を共有し、人事システムの充実に努めます。
- ② 人事考課の在り方に対し法人内の検討を進め、職員の自己啓発を推進するとともに福祉職員としての共通認識を高める取組みを推進します。
- ③ 法令で定められている研修を継続して行います。(虐待防止、人権擁護、安全・災害対

策)

- ④ 本年度も主任研修を継続して行います。
- ⑤ その他、必要に応じて人材育成を目的とした研修を行います。

4. 地域における関係機関との連携

各事業所毎に、事業の特性や地域の特性を生かし、関係職及び地域住民やインフォーマルな団体と連携・交流を図り、障害の理解促進と、利用者が生活しやすい地域づくりに努力を重ねていきます。

また、民間障害者団体等との連携については、課題を共有し、必要に応じて協力関係の維持・発展に努めます。

5. 社会福祉法人としての役割の推進

新社会福祉法人制度で求められる「地域貢献」については、収益を目的としない非営利団体として、法人財産を支出する「再投下計画」に関わらず、地域に必要とされる取り組みを行います。また、県や市町村の作成する障害者計画等に協力し、自立支援協議会等を通して、社会福祉法人に求められる地域での役割を担い、地域の体制整備に努めます。

6. 円滑な運営を推進するための組織体制

1～5までの事業方針についての具体化を図り、円滑な運営を進めていくため、理事会・評議員会のもとに、以下の機関を設置し、取り組みます。

- 1. 執行役員会（法人運営の執行、その他）
- 2. 人事委員会（人材確保、昇格、その他年間の人事調整）
- 3. 所長会議（事業所運営の推進、法人・事業所課題の検討、企画・提案、その他）
- 4. 法人事務局会議（評議員会・理事会調整、所長会議との調整、人材育成、その他）
- 5. 給与改定検討委員会（所長会議より選出、給与・労務における個別具体的な検討）
- 6. 研修部会（法人研修の企画等）
- 7. ジャーナル編集委員会（やおきジャーナルの編集、発行）
- 8. 苦情相談委員会（事業所での苦情受付・解決を含む全体の苦情統括等）
- 9. 虐待防止委員会（虐待及びこれに準ずる事態の把握と解決）
- 10. その他必要に応じた専門委員会（企画、法人事業長期計画、グループホーム、防災、危機管理等）

7. 法人行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	辞令交付式・勤続表彰	
5月	理事会	(監事監査・決算案・事業報告案)
6月	評議員会 やおきジャーナル発行	(決算・事業報告)
7月	理事会	(第1次補正予算)
8月		
9月	やおきジャーナル発行	
10月	理事会	(第2次補正予算)
11月	やおきジャーナル発行	
12月		
1月	新年会	
2月	理事会 やおきジャーナル発行	(第3次補正予算)
3月	理事会	(新年度予算・事業計画)

指定相談支援事業

令和6年度 紀南障害者地域生活支援センター事業計画（案）

1. 運営方針

前年度まで重層的な相談支援体制の確保を目的として、指定特定、指定一般、自立生活援助、デイサロン、長期入院者の相談事業、居住相談を総合的に行うとともに、協働型相談として、指定相談事業所「ユアセルフ」との間で密な連携を行ってきたが、本年度においては指定特定相談支援の一部改定、事業所管理体制の変更等から、合理的に事業の整理を行い、バランスのとれた実施体制を考えていきたい。その他、圏域市町の委託により実施している4法人の協議により、今年度からは「一般的な相談支援」に加え、「基幹相談支援センター」への相談支援専門員派遣について、やおきから1名を配置し、取り組んでいく。

2. 実施事業

- ① 圏域市町（田辺市・白浜町・みなべ町・上富田町・すさみ町）の委託を受け、専任の相談支援専門員を派遣し、以下の相談支援を行う。
 - (1)基幹相談支援センター機能強化事業（にしむろ）
総合相談、専門的な相談、権利擁護、地域移行・地域定着、自立支援協議会の運営等、地域の相談支援体制に関わる事業等
 - (2)障害者相談支援事業（にじのわ）
日常生活における福祉サービス利用等の援助、サービスの調整、一般的な相談支援事業。
- ② 指定特定相談支援事業
利用者の相談を受け、福祉サービス資源の利用を調整する「サービス等利用計画」の作成を行う。また、相談機能の強化を目的として「協働型相談支援」の取り組みを行う。
- ③ 白浜町自発的活動支援事業
白浜町内で「デイサロン」を提供するとともに、個別のニーズに即したプログラム等を白浜町及び相談事業と連携した取り組みを行う。
- ④ 長期入院患者地域移行促進事業
「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの整備」の一環を担い、多機関と連携して入院中の精神障害者に対し、退院意欲開発の取り組みを行う。
- ⑤ 自立生活援助事業
病院、施設、グループホーム等から単身生活に移行した人及び地域での安定した生活

を送るために見守りが必要な人等について定期的に訪問を行い、日常生活の支援と福祉サービスの調整等を行う。

⑥ 指定一般相談支援事業

精神科病院等からの退院時に支援が必要な場合、病院との連携を図り、退院に向けた見学や体験、退院先等との調整を図り、不安なく退院できるよう「地域移行支援」のサポートを行う。また、退院後、定着に向けて継続的な支援が必要な場合、見守りや緊急時支援等のサポートを行う。

3. 地域交流（連携）等活動

①西牟婁圏域自立支援協議会

「西牟婁圏域自立支援協議会」及び白浜町で設置する「白浜町福祉サービス事業所連絡会」の活動に参加し、職種間の連携を通し地域の支援体制整備を図っていく。
(全体会・定例会議・事務局会議・精神保健福祉部会及び精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム整備に向けた協議の場・相談支援部会)
(4 法人相談事業所協議会・和歌山県相談支援専門員協会等)

②地域貢献活動

居住支援活動を事業所独自の形態に移行し、登録している障害者・高齢者の見守りを含めたサポートを行う。

4. その他の活動

事業運営に必要な研修会の開催、研修への参加、依頼等に基づく出前講座、各種団体への委員等の派遣、精神保健福祉士資格援助実習の受け入れ等の活動を行う。

その他、事業運営に必要な課題解決を目的に必要な活動を行う。

5. 相談支援拠点

紀南障害者地域生活支援センターは、以下の相談拠点により運営する。

- ① 紀南障害者地域生活支援センター（田辺市本町事務所3F）
- ② 西牟婁圏域障害児・者相談センター「にじのわ」（田辺市民総合センター：4法人）
西牟婁圏域基幹相談支援センター「にしむろ」（田辺市民総合センター：4法人）
- ③ 白浜町自発的活動支援事業「デイサロンぼらんち」（白浜町富田駅：富田みのり館）

6. 行事計画

年月	行事内容等	備考
R6年4月～ R7年3月 (毎月同)	各種相談支援の提供、自立生活援助の提供、デイサロン（白浜町）の提供、入院者の相談・外出支援、地域貢献活動等	自立支援協議会、 連携事業所活動等 その他事業種別ごとに 随時の研修開催及び資格研修受け入れ等

7. 数値指標

項目	にしむろ (4法人)	にじのわ (4法人)	相談 センター	備考
相談員数（常勤 換算）	1名 (派遣)	1名 (派遣)	4.5名 (管理者兼任1名)	法人内事業所兼任者は 人数に含まず。
総相談支援件数 (想定)		4法人全体 (10,000件)	5,500件	

【就労移行支援・就労継続支援 B 型・就労定着支援】

令和 6 年度 やおき工房事業計画（案）

1. 運営方針

就労移行支援では新規利用者の確保に努めつつ、就業・生活支援センターアンカー等と連携を図りながら就職及び長期での就労定着を目指していく。今年度は 3 名程度の就職及び就労定着を目標とする。

就労継続支援 B 型においては、利用者への所得保障を行っていくため、引き続き工賃向上に努める。新たな施設外就労先の確保や近隣への除草作業等の営業活動にも力を入れていく。自主製品（製菓、メモ帳、セスキ等）の品質向上や販売先の拡大を図りながら売上を伸ばしていく。利用者・家族の高齢化が進む中で、本人・家族の病気や入院等も増えてきていることから、環境変化に応じた生活支援や健康管理にも力を入れていく。

就労定着支援では安定した就労の継続を図るため、生活相談や企業訪問・他機関との連絡調整に努める。今年度は 4 名程度を対象とする。

2. 事業内容

① 就労支援活動

（就労移行支援）

- （1）所内訓練で基礎的な就労スキルを身に付けられるようにする。
- （2）所外訓練では、企業に出向き実際の職場を肌で感じながら、就労への意識を高めていく。
- （3）就業・生活支援センターアンカーと連携し職場実習及び職場定着の支援を行う。
また、多様な実習の提供のため職場実習先確保の取り組みを必要に応じて行う。
- （4）ミーティング機会を意図的に作り、コミュニケーション能力・協調性を育めるようにする。
- （5）内外の研修機会を活用し就労スキル向上のための学習会・講習会を開催もしくは参加する。
- （6）就職や職場実習に必要な原付・自動車運転免許等の取得のための学習支援を行う。

（就労継続支援 B 型）

- （1）所内作業では比較的収益を見込め安定した作業確保に努める。
- （2）4ヶ所の施設外就労を継続するとともに高単価の新規施設外就労先の確保に努める。
- （3）上富田町より受託した遊休農地の除草作業を実施するとともに受注増を図る。

- (4) 季節作業として6月梅拾い、11月梅の剪定枝集めを実施する。
- (5) 製菓やめも帳、新商品のらくがき帳、その他の自主製品のデザイン改良や品質向上及び取扱店舗を増やす等販路拡大に努める。また、優先調達法や共同受注窓口を活用し受注拡大を図っていく。現在、田辺市ふるさと納税にお菓子の詰め合わせセット2種類を申請中。申請が通れば、そこでの受注拡大も図っていききたい。
- (6) 和歌山県セルフセンター「わっくる」カタログの販売に夏季及び冬季に取り組む。カタログ掲載商品である「ゆうやけクッキー（プレーン、紅茶）」の製造を行う。
- (7) 夏季の島原素麺、冬季のチャンポン・皿うどん販売に取り組む。
- (8) 地域バザーに参加し売り上げを伸ばす。(5月イノブタまつり、8月ヤーヤー祭り、9月地域福祉フォーラム、10月空の日フェスタ、11月福祉映画上映会、2月ふれあい文化祭)

(就労定着支援)

- (1) 対面による相談支援を行い、利用者やその家族に対して、雇用に伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言その他の必要な支援を提供する。また、企業訪問し就労状況を把握するとともに、必要に応じて企業、就業・生活支援センターアンカー、障害福祉サービス事業所、医療機関等と連絡調整及び連携を行う。

② 生活支援活動

- (1) 自治会育成・自治会活動の充実を図り、主体的な取り組みができるように支援する。
- (2) スポーツレクリエーションを定期的で開催し体力づくりを行う。精神障害者ソフトバレーボール和歌山大会出場に向けて、他の事業所と協力しながらやおきインフィニティーの練習を定期的で開催する。
- (3) 季節行事の開催（観梅、花見、BBQ、忘年会、新年会等）
- (4) 就労や生活に必要な各種学習会を実施する。
- (5) 健康診断を年1回行う。週1回（水曜日）のウォーキングの実施。必要に応じて健康講座を開催する。
- (6) 防災訓練を年2回（11月、2月）実施し、防災意識を高める。

③ 個別処遇関係

- (1) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画に基づき作業・生活支援を行う。
- (2) 相談支援事業所含め必要な機関と連携しながら、個別支援にあたる。
- (3) 家族懇談会（年1回）を実施し、保護者同士が繋がれる機会を確保するとともに、事業所での取り組みを知って頂き、意見交換を図る。必要に応じて家庭訪問を実施

する。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 三栖・城山台地区の沿道清掃ボランティアを週1回水曜日午前中に行う。
- (2) 8月には城山台町内会子ども夏まつりに参加し、子供たちが楽しめるよう取り組む。
- (3) 地域住民及び団体へのバザー用品等の貸し出し。
- (4) 自殺予防の街頭啓発活動や赤い羽根共同募金会の街頭募金活動等への協力。
- (5) はまゆう支援学校高等部3年生の現場実習（施設利用体験）の受け入れ。
- (6) 紀南看護専門学校3年生の精神科看護実習の受け入れ。

4. その他の活動

- (1) 隔週土曜日等の休日に開所し作業支援・余暇支援を行う。（年21回程度）
- (2) 自力通所が難しい利用者への送迎を行う。
- (3) 多様な障害への支援スキル向上のため事業所内外で研修の機会を設ける。
- (4) 西牟婁圏域自立支援協議会 就労支援部会の活動に参加する。
- (5) 和歌山県セルフセンターに加盟し、「わっくる」カタログ販売活動や研修機会を通じて、自主製品の品質向上や工賃向上につなげていく。

5. 行事計画

月	行事内容等	備考
4月	自治会、花見、土曜開所（作業）	
5月	スポレク、イノブタまつり、土曜開所（作業・レク）	
6月	買い物レク、学習会、土曜開所（作業・レク）	
7月	自治会、DVD鑑賞、土曜開所（作業）	
8月	ヤーヤー祭り、城山台子ども夏まつり、土曜開所（BBQ、作業）	
9月	自殺予防街頭啓発、土曜開所（作業・レク）	
10月	スポレク、空の日フェスタ、土曜開所（作業）、赤い羽根街頭募金	
11月	一泊旅行、防災訓練、土曜開所（作業・レク）、精神バレー大会、法人運動会	
12月	土曜開所（忘年会&ボウリング大会・作業）、インフルエンザ予防接種	
1月	初詣&甘味、土曜開所（映画鑑賞会・作業）、法人新年会	
2月	観梅、ふれあい文化祭、映画鑑賞、防災訓練、土曜開所（作業・レク）	
3月	家族懇談会、健康診断、健康講座、歓送迎会、土曜開所（作業・レク）	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労移行支援		就労継続支援 B 型		就労定着支援
利用定員	8 名		20 名		
1日平均利用者数	8.7 名		21.3 名		3.9 名
職員数 (常勤換算)	11 人 (9.8 人)				
年間稼働予定日数	総稼働日数 260 日		休日開所日数 21 日		
授産科目及び授産収入	科目	収入 (円)	科目	収入 (円)	相談支援 企業訪問 関係機関との連絡調整 離職者支援
	給食事業	10,219,920	受託作業	2,682,714	
	職場実習	1,186,800	自主製品	1,371,600	
	内職作業	222,000	販売事業	765,000	
			内職作業	756,000	
	合 計	11,628,720	合 計	5,647,444	
目標工賃 (一人当たり)	月額 25,000 円		月額 16,500 円		
1日のスケジュール	9:00 朝礼・ラジオ体操 9:10 作業・職場実習 (15分休憩) 12:00 昼食 13:00 作業・職場実習 (15分休憩) 15:30 館内清掃・終礼 16:00 終了		9:00 朝礼・ラジオ体操 9:10 作業 (15分休憩) 12:00 昼食 13:00 作業 14:30 館内清掃・終礼 15:00 終了		利用者の就労状況に応じて行う。

令和6年度 ゆうあいホーム事業計画（案）

1. 運営方針

- ① ゆうあいホームを拠点に、ほわいとホーム、南紀の台ホーム、すてっぷはうす、なないろいろの5ホームを一体的に運営し、利用者一人一人の生活基盤を支えられるよう適正に対応していく。
- ② 空き居室に対する体験利用の受入れを継続し、空床なく事業実施していけるよう努める。
- ③ 利用者が過ごす日中事業所や相談員、介護事業所などとの情報共有を図ることで、適切なサービス提供を行っていけるよう取り組む。
- ④ 令和6年度はBCPプラン作成が義務化されることから、入居者のいるグループホームは事業を止めることができない事業であることから、作成したBCPプランを職員間で共有し、必要な訓練の実施により、感染症や自然災害といった様々な状況に対しての備えを強化していく。

2. 事業内容

- ① 生活支援活動
 - (1) 平日の朝食、夕食の給食提供
 - (2) 休日における食事支援（買い出し・弁当注文）
 - (3) バイタルチェックによる健康管理サポート
 - (4) 定期的な受診、処方通りの服薬支援
 - (5) 収入の範囲内で生活を継続するための金銭管理支援
 - (6) 居室の清掃、整理整頓に関する助言やサポート
 - (7) 居室内の災害対策として、家具の転倒防止等に関する助言やサポート
 - (8) 入浴、洗顔、歯磨き等の衛生管理の助言や見守り
 - (9) 洗濯に関する助言やサポート
 - (10) 身だしなみに関する助言やサポート
 - (11) その他、日常生活における相談支援
- ② 個別処遇関係
 - (1) 個別支援計画に基づく支援を行うことで、個々の課題解決や生活スキルの向上、生活の質を高めることができるよう努める。
 - (2) 相談支援専門員やケアマネージャーと連携することで、客観的な意見も柔軟に取

り入れ、適切な支援内容となるよう定期的に見直しを図る。

③ 短期入所（併設型・空床型）

- (1) サービス利用の必要な利用者、ご家族のニーズを適切に把握し、必要なサービス提供に努める。
- (2) 新規利用相談を積極的に受け付け、利用率の向上に取り組む。
- (3) ホーム内で感染症等が発生した場合には、利用者に感染が広がらないよう、本人やご家族と連絡を取った上で安全に退居できるよう対応する。また、利用予定者についても速やかに連絡をとり、安全な日程で利用できるよう再調整する。

④ 日中一時支援事業

- (1) 田辺市、白浜町より日中一時支援の委託を受けており、保護者等の何らかの事由による宿泊を伴わない利用を希望される方をホームで受け入れ、生活支援や相談支援、見守り支援を行う。
- (2) 相談員と連携し、必要な支援内容について把握し、適切な支援を行う。
- (3) 委託契約を締結していない市町からの利用相談が入った場合については、相談員を交え、当該市町村担当者と協議するなど、適切に対応する。

⑤ 田辺市自発的活動支援事業

- (1) 地域啓発活動や当事者活動支援、ボランティアの育成やボランティア団体の活動支援を計画的に実施する。法人内で実行委員会を組織し、地域のニーズに合わせて事業を実施するよう努める。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- ① 町内会に加盟し、地域の清掃活動や避難訓練等に可能な限り参加協力する。
- ② 所有しているバザー用器具の貸し出し依頼があれば柔軟に対応する。
- ③ 地域行事ふれあい文化祭実行委員会に担当者を派遣し、開催の準備や運営に積極的に協力する。
- ④ ボランティアや実習生等の受入りに柔軟に対応する。

4. その他の活動

- ① 外部研修に参加することで、職員に対する研修機会を確保する。職員間でフィードバックし合うことで、情報の共有化を図る。
- ② 接触機会の減ったご家族に対して家庭訪問を実施し、日頃の取り組みをお知らせする機会を持てるよう取り組む。
- ③ 感染症の集団感染を防ぐため、予防接種を希望する利用者に適切に対応する。
- ④ 白浜町福祉サービス事業所連絡会に参加する。

- ⑤ 紀南こころの医療センターデイケアとの連携会議を実施する（年2回）。

5. 行事計画

月	内 容	月	内 容
4	歓迎会	10	ソフトバレー大会、利用者健康診断
5	防災訓練	11	防災訓練
6	誕生日会	12	忘年会、クリスマス会、誕生日会
7		1	初詣、法人新年会
8	バーベキュー	2	ふれあい文化祭
9	誕生日会	3	年度末食事会、誕生日会

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	ゆうあい	ほわいと	南紀の台	なないろ	すてっぷ	合 計
利用者定員	17人	10人	7人	7人	3人	44人
利用者現員	16人	10人	7人	7人	3人	43人
家 賃	20,000円	20,000円 ～ 30,000円	25,000円	20,000円 ～ 25,000円	30,000円	
利用料	26,000円 (内訳：給食費 14,000円、光熱水費 10,000円、日用品費 2,000円)					
職員数	職員 18人 サービス管理責任者 2名（兼務） 世 話 人 10.6人名 生活支援員 2.9人名					
利用者区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	5人	18人	14人	5人	0人	1人
年齢別	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	6人	4人	8人	14人	8人	3人

【就労継続支援B型】

令和6年度 陽だまり事業計画（案）

1. 運営方針

利用者の高齢化に伴い、身体的不自由な方、病気の方が増えているため、生活支援や健康管理の把握に努め、利用者ひとりひとりが安心して通える居場所作りを行う。

また、利用者の増加に伴い、作業場が狭く高齢者や身体に障害を持たれる方の利用は厳しい状況であるので、作業所の改装か移転を含めて、本部と連携してすすめていく。

作業面に関しては、高齢の方や重度の方ができる作業や少人数でゆったりできる作業を模索していく。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 内職作業

i ブラシの組み立て、包装

ii 電気部品の組み立て

iii 梅の種カット

(2) 受託作業

紀南こころの医療センター内の売店業務

(3) 自主製品

チョコレートの包装、ルート販売

(4) 夏季・冬季の物品販売活動

そうめん、ちゃんぽんの注文販売

(5) バザー活動

地域の催し、イベントへの参加

② 生活支援活動

(1) 掃除、昼食準備、食器洗いなどの技能アップを行い、日常生活能力の維持・向上に努める。

(2) ラジオ体操や散歩などをプログラムに取り入れ、利用者の健康増進のための取り組みを行う。また、健康診断を実施し、利用者の健康状態の把握に努める。

(3) 日常生活の改善や充実のため、買い物支援を定期的実施する。

③ 個別処遇関係

- (1) サービス等利用計画をもとに、個別支援計画を作成し、利用者の意向や課題を確認し合い、支援の方向性、評価、検証を行う。
- (2) 利用者の日々の状態を把握し、必要な支援及び助言、生活相談を継続して行い、必要に応じて、受診同行、家庭訪問、関係機関と連携した支援を行う。
- (3) 一般就労または、他事業所（A型、B型等）へのサービス変更の際には、問題なく移行できるよう関係機関と連携して支援を行う。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 地域ボランティアや看護学生の受入れをしていき、事業所の活動等を伝える取り組みを行う。
- (2) バザー活動を通じて利用者が地域社会と繋がり、社会での役割を実感できるような取り組みを行う。

4. その他の活動

- (1) 月2回ほど休日開所日をし作業支援・余暇支援を行う。
- (2) 毎月各クラブ活動（釣り、お菓子作り、クラフトテープ、手芸、スポーツ等）を行う。
- (3) 自力通所が難しい利用者への送迎を行う。また、安全運転に努め、定期的な車両点検を実施する。
- (4) 職員の直接処遇技術向上のため外部研修へ積極的に参加をしていく。
- (5) 月1回、施設内外の安全点検を実施する。
- (6) 利用者の高齢化対策として、精神科以外の医療機関と連携し、利用者が速やかに施術（接骨院等）を受けられるように支援する。
- (7) 年2回の防災訓練を実施し、必要に応じて防災物品を購入する。

5. 行事計画

月	行事内容等	備考
4	花見、クラブ活動、自治会、	
5	いのぶたバザー、クラブ活動	
6	クラブ活動	
7	クラブ活動、そうめん大会、まりんと川遊び	
8	クラブ活動、大掃除	
9	クラブ活動、防災訓練、大塔夏祭り、誕生日会	
10	クラブ活動、BBQ	
11	健康診断、クラブ活動、法人運動会	

1 2	クラブ活動、クリスマス会&忘年会、大掃除	
1	初詣、クラブ活動、法人新年会	
2	クラブ活動、観梅、ふれあい文化祭	
3	防災訓練、クラブ活動、誕生日会	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援 B 型	
利用定員	20 人（登録者 31 名）	
1 日平均利用者数	21 人	
職員常勤換算配置数	6 人	
年間稼働予定日数	総稼働日数 260 日	休日開所日数 21 日
授産科目及び授産収入	科目	収入（円）
	内職作業（亀井）	360,000
	受託作業（OFM、売店、梅カット）	2,110,000
	販売活動（チョコレート）	120,000
	物品販売（そうめん等）	340,000
	バザー活動	400,000
		計 3,330,000 円
目標工賃 （一人当たり）		月額 11,000 円

1 日のスケジュール	9:30 朝礼・ラジオ体操 10:00 作業 （15分休憩） 11:30 館内清掃 12:00 昼食 （1時間休憩） 13:00 作業 （15分休憩）	14:45 終礼 15:00 終了	利用者の就労状況に応じて行う。
------------	--	----------------------	-----------------

【訪問介護等事業】

令和6年度 訪問介護支援センター クリップ事業計画（案）

1. 運営方針

障害者総合支援法と介護保険法に基づき、訪問介護支援員を派遣し地域の単身障害者等の生活の充実に取り組んでいく。

今年度の重点課題としては、主任2名体制になったことで、バックオフィス業務の充実と新規利用者の獲得に力を入れていきたいと考えている。また昨年度に引き続き研修体制等の充実により職員の支援力の強化を引き続き図っていく。

2. 実施事業

＜障害分野＞

- ① 居宅介護事業・・・家事、身体、通院
- ② 同行援護・・・移動支援（盲）
- ③ 移動支援・・・市町村の定める地域生活支援事業（介護予防）
- ④ 代読代筆奉仕員派遣事業
- ⑤ 意思疎通支援事業

＜高齢分野＞

- ① 訪問介護・・・家事、身体（要介護認定者のみ）
- ② 指定第一号予防相当訪問介護（要支援と田辺市判断）

3. 研修等活動

- ① 月一回の定例研修の実施
- ② 法人の全体研修の参加
- ③ 資格取得（キャリア形成）に向けた研修参加
（介護福祉士、痰の吸引処置認定、同行援護一般研修、同行援護応用研修）
（ヘルパー2級⇒介護職員初任者研修⇒介護職員実務者研修⇒介護福祉士）

4. 職員数

令和5年3月時点 正規1名 常勤3名 登録7名
令和6年4月時点 正規2名 常勤6名 登録7名

5. 数値指標

項目	合計	法人内	法人外	令和6年度目標
障害	48人	8人	40人	53人（現在48名）
高齢	10人	0人	10人	12人（現在10名）

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 ハモニティ 事業計画(案)

1. 運営方針

◇利用者一人一人が豊かな地域生活を送られるよう、日常生活の相談や作業、レクリエーション活動を通し、動機づけを高められる支援をおこなっていく。

◇個々のニーズや態様に応じた活動機会を提供し、はたらく喜びや体験を通し自信をつけていく。

◇利用者が必要なサービスや資源を上手く活用していけるよう、関係機関と連携を図っていき、情報提供やサービスの変更、調整など支援していく。

ハモニティと stretch+が、それぞれの特徴を活かしながら、利用者個々の障害特性や希望、生活状況に合わせた利用ができるよう支援していく。相談支援機関等からの見学や体験も積極的に受け入れていきながら、利用者数の増加、通所率向上に向けた取り組みをおこなっていく。

また、利用者との関りや相談、病状の変化にもしっかりと対応できるよう職員間の情報共有や研修など、支援の質を高められるよう努めていく。

売店事業については、5月からの新店舗の開店準備と運営、支援体制の確立に向けた取り組みをおこなっていき、利用者がやりがいをもって楽しく仕事ができる環境を整備していく。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 受託作業

- i OFM・・・電子部品のセット。
- ii 亀井商店・・・スポンジ袋入れ、タオル袋詰め、日用商品袋詰め。
- iii 紀州うめまさ・・・チラシ印刷・折り、袋詰め。
- iv 福梅本舗・・・商品の包装、梱包、シール貼り。
- v UES・・・カーペット見本帳作成、災害時用簡易トイレの梱包等。
- vi ワークスタジオ・・・衣類、生地の仕事。
- vii 紀伊民報・・・新聞発送分の帯封作業。
- viii 売店ピュア・・・田辺市職員共済会より庁舎内の売店運営委託。

(2) リサイクル作業

- i 古紙アルミ缶回収・・・施設への持ち込み対応と近隣事業所、学校への回収。

ii 古着回収・・・施設への持ち込み対応。

(3)印刷

印刷物の受注販売・・・名刺、封筒、チラシ

(4)自主製品

竹製品の製造販売・・・竹箸、竹ストラップ

手芸品の製造販売・・・羊毛フェルト、消しゴムハンコ、縫製品

② 生活支援活動

(1)感染症等予防

手洗いや消毒、検温など感染症予防についての取り組みに対して理解と協力をお願いしていく。

(2)健康

毎日のラジオ体操への参加の呼びかけや、レクの機会を活用し運動の機会を設けていき、運動を楽しみながら取り入れていける工夫をしていく。生活習慣など意識した生活が送られるよう、年に一度医療機関において健康診断を実施していき、定期的に健康面について確認し合っていく。

(3)日常生活

日常生活の様子についての把握に努め、食生活や衣服、身だしなみについての助言をおこなっていく。

また、相談員やケアマネージャー、介護事業所との連携に努め、利用者が必要なサービスが受けられ、安心して暮らしていけるよう支援していく。

③ 個別処遇関係

(1)利用者の意向や課題を確認し合い、個別支援計画を作成し、支援の方向性、評価、検証をおこなっていく。

(2)利用者の日々の状態を把握し、必要な支援及び助言、生活相談を継続しておこない、必要に応じて、医療機関診察同伴、家庭訪問、関係機関と連携した支援をおこなっていく。

(3)一般就労または、他事業所へのサービス利用変更の際には、円滑に移行できるよう、関係機関との連携や、フォローアップをおこなっていく。

④ 余暇活動支援

(1)レクリエーションやスポーツ等の活動を通して、利用者同士の親睦、体力、健康の維持、増進を図っていく。

(2)利用者に楽しんでもらえるレクリエーションを工夫していく。

3. 地域交流活動

(1)古着、古紙回収事業を通して、地域住民との交流を図っていく。

(2)地域の行事やイベント活動への参加。

4. その他の活動

- ・防災訓練やそれに伴う学習会を定期的実施し、非常災害に備える。巨大地震を想定した訓練では避難訓練のほか、机の下にもぐる、頭を守るなど命を守る行動が咄嗟にとれるよう訓練の仕方を工夫していく。
- ・施設を日常、安全に支障なく利用してもらうために、施設建物安全点検を定期的実施する。
- ・職員の資質向上のための各種研修会への参加。

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	外食レク	
5月	釣りレク	
6月	スポーツレク	
7月	そうめん、かき氷	
8月	バーベキュー	
9月	スポーツレク	
10月	日帰り旅行	
11月	防災訓練、スポーツレク	
12月	メンバー忘年会・クリスマス会	
1月	初詣、利用者健康診断	
2月	防災訓練、観梅、ふれあい文化祭	
3月	お花見ドライブ	

6. 数値指標

事業種別	就労継続支援 B 型	
利用者定員	20	
1 日平均利用者	25	
職員数（常勤換算）	7.8	
年間稼働日数	260	
授産科目（支援科目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託作業、自主製品 ・ 古紙、空き缶、古着回収・印刷物受注販売 	
平均工賃	13,500/月	
1 日のスケジュール （ハモニティー）	<p style="text-align: center;">AM</p> 9:30 ミーティング・体操 10:00～10:50 作業 11:00～11:55 作業 12:00～13:00 昼食・休憩	<p style="text-align: center;">PM</p> 13:10～14:00 作業 14:10～15:00 作業 15:00～ 送迎・自由時間 ※木曜日午後はレクリエーション ※土曜日開所日は午前中のみ
1 日のスケジュール （stretch+）	<p style="text-align: center;">AM</p> 9:30～10:20 作業 10:30～11:20 作業 11:20～13:00 昼食・休憩	<p style="text-align: center;">PM</p> 13:10～14:00 作業 14:10～15:00 作業 15:00～ 送迎・自由時間 ※土曜開所日はレクリエーション

【障害者就業・生活支援センター事業】

令和6年度 紀南障害者就業・生活支援センター アンカー事業計画（案）

1. 運営方針

田辺市及び西牟婁郡・みなべ町を圏域とし、障害者の方々（難病を含む）の就業と就業に伴う生活に関するニーズに基づき「働き続けられる」ことを目標にし、関係機関との連携にて支援を行っていく。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 相談・支援業務の実施

- i 相談に応じ、就業及び就業に伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び、助言その他の援助を行う。
- ii 事業主に対して就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- iii 和歌山障害者職業センターの職業評価、事業所への職場実習の斡旋・支援を行う。
- iv 関係機関との連絡会議を開催し、機関との連携を行う。
- v 中高年齢者の継続雇用に関する相談支援を行う。

(2) 求職支援活動

- i ハローワークへの同行等による求人検索
- ii 地域新聞等広告紙による求人への相談と対応
- iii 独自の企業開拓
- iv 他府県への移住、転職希望者への移住先支援機関との調整（リモート含）

(3) 職場定着支援

- i ジョブコーチによる職場定着支援（訪問型職場適応援助者）
- ii 就職後の作業支援（指導）、就労後数年経過した企業への不定期巡回訪問

(4) 地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施

（下記内容から年4回以上）

- i 関係機関との連絡会議・交流会等の開催
- ii 他の就労支援機関等へのノウハウ提供を図るための研修会などの開催
- v センター同士のノウハウを共有するため、同じ地域事情の他地域のセンターとの研修、交流会を開催

(5) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施（(6)も含め年3回以上）

- i 災害用伝言ダイヤル体験を行う。
- ii 警察官を講師に招き、交通安全教室を行う。
- (6) ピアサポート活動の実施 ((5) も含め 3 回以上)
 - i 福祉サービス利用者、在宅者で登録をしている者を対象に行う。
- (7) 和歌山県発達障害者支援センターとの連携
- (8) 就業支援・職場定着支援担当の会議・研修等
 - i 和歌山県障害者就業・生活支援センターNW 会議、研修会への参加
 - ii 全国就業支援 NW 定例研究会への参加
 - iii 近畿ブロック経験者交流会への参加
 - iv 主任職場定着支援担当者の経験交流会への参加

② 生活支援活動

- (1) 生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言
 - i 医療同行、服薬管理についての助言、金銭管理
- (2) 住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言
 - i 行政手続き補助および代行
 - ii ワーカーズクラブの活動補助
- (3) 関係機関との連携調整・会議
 - i 全国就業支援 NW による生活支援ワーカー研修会への参加

③ 個別処遇関係

- (1) ジョブコーチ支援の実施
- (2) 就労移行事業所利用者の一般就労相談についての連携会議
- (3) 職場定着支援事業利用者の定着支援についての連携会議
- (4) その他福祉サービス利用者、圏域相談センター利用者（在宅）の一般就労相談についての連携会議又は個別対応
- (5) 個別ケースにより家庭訪問、グループホーム訪問の実施
- (6) 定期的な面談が必要な利用者への対応（リモート面談希望者にはリモート対応）

④ 余暇活動支援

- (1) 職場定着促進のための在職者の交流活動
 - i ワーカーズクラブ活動補助

3. 地域貢献及び地域交流活動

特になし

4. その他の活動

- (1) 障害者就業・生活支援センター事業についての学習会
- (2) 職場実習支援制度や障害者雇用支援制度の学習会
- (3) 就職に向けてのプロセスの学習会

5. 行事計画

月	就労	生活	
4			
5	県下7センター会議		
6	全国NW(定例研究会)	全国NW(定例研究会)	
7			ワーカーズ活動
8	県下7センター研修		
9	県下7センター会議		
10			研修会 ワーカーズ(一泊旅行)
11	近畿ブロック交流会		
12		(生活支援講座)	
1	県下7センター研修		
2	全国NW(フォーラム) 主任定着支援者研修		研修会 ワーカーズ食事会
3	運営協議会 県下7センター会議		ワーカーズ総会

6. 数値指標

職場実習	25件
就職者数	20件
就職率	80%
定着率	90%

【地域活動支援センターⅢ型事業】

令和6年度 SHIP（シップ）事業計画（案）

1. 運営方針

地域活動支援センターSHIP は、福祉サービスに馴染まない方々を主たる対象者とする。医療・保健機関等との連携を継続しながら生活力の獲得、作業等へのかかわりを持つことからの意欲獲得、集団への参加、対人関係等の力を育むことを目標として、創作活動及び生産活動の機会の提供、また、社会との交流促進等の便宜の供与を行うものとする。

2. 事業内容

事業種別：地域活動支援センター（Ⅲ型）

委託契約：田辺市

利用定員：10名程度

職員配置：管理者1名（兼務）

生活・作業指導員2名（専任）

① 就労支援活動

内職活動：缶バッジ 他

自主製品：農事での野菜等の生産、多肉植物の栽培（委託販売）

職場実習：就業センター併用登録者の職場実習同行

田辺市新庁舎カフェ部門での週1回の実習

②生活支援活動

余暇活動支援、レクリエーション・スポーツ他

生活にかかる実習等の支援、調理実習・買い物支援他

③個別処遇関係

医療同行、就労相談、サービス事業所見学他

3. 地域交流・地域貢献活動

圏域内での催し物への参加など

4. その他の活動

ワーカーズ活動への参加等

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	農事作業開始	
5月		
6月		
7月		
8月	BBQ	
9月	避難訓練	
10月		
11月		
12月	忘年会	
1月		
2月	観梅	
3月	防災訓練	

日中に市内施設を借りて定期的なスポーツレクリエーションに取り組み、リフレッシュ・体力維持（強化）への取組を検討中。（スポーツ保険等への加入）
調理実習の実施を月1回程度。

6. 数値指標

事業種別	地域活動支援センター	
利用者定員	10名	
1日平均利用者	8名	
職員数（常勤換算）	2人+（管理者1名）	
年間稼働日数	240日	
授産科目（支援科目）	缶バッジ、他 農事作業 職場実習	
目標工賃	未設定	

1日のスケジュール	9：30 来所	13：30 来所
(Aさんの場合 左)	10：00 作業時間	13：30 昼食
	12：00 昼食	14：00 作業・サロン
(Bさんの場合 右)	13：00 職場実習	16：00 送迎にて帰宅
その他もあり 個別に応じる。	16：00 帰宅	

【外部サービス利用型 共同生活援助】

令和6年度 サンヒルズ事業計画（案）

1. 運営方針

将来一般就労を目指す方、また既に A 型事業所利用及び就労に就いている人たちを新規受け入れし、就業・生活支援を継続していく。サンヒルズを主としクローバー・オレンジ・ユースVII・アップル・レモン・みなべ鹿島ホームを一体的に運営していき、利用者が、地域において自立した日常生活を営む上で、相談等の日常生活上の援助が必要な者に対し支援を実施する。

2. 事業内容

① 生活支援活動

- ・日常生活における家事全般についての助言
- ・世話人稼働日の夕食支援
- ・悪天候（警報等発令時）での出勤等支援（自家用車未所持者、希望者）
- ・土日祝日の巡回による生活支援
- ・世話人の研修（施設内での研修年1回、外部研修の情報提供）

② 個別処遇関係

- ・金銭管理についての助言・補助
- ・生活相談、就労相談、就労定着相談、支援
- ・医療同行、服薬管理（助言、確認）
- ・日中活動に係る事業所等の関係機関との連絡調整
- ・单身生活希望者への相談と対応

3. 地域交流・地域貢献活動

各ホームの町内会参加。（行事参加は未定）

4. その他の活動

- ・紀南障害者就業・生活支援センターアンカーと連携した余暇活動支援・助言
- ・紀南障害者就業・生活支援センターアンカーとの連携による学習会への参加
- ・自助グループ「ワーカーズクラブ」主催の行事への参加（田辺エリア）
毎月第1火曜日、会議（希望者）
毎週木曜日、スポーツレクリエーション（希望者）

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月		
5月		
6月		
7月	ワーカーズ食事会 (BBQ)	
8月		
9月	個別支援計画、防災訓練	
10月	ワーカーズ旅行	
11月		
12月	ワーカーズ忘年会	
1月		
2月		
3月	個別支援計画、食事会、防災訓練	

6. 数値指標

事業種別	サンヒルズ	クローバー	オレンジ	ユースⅦ	アップル	小計1
利用者定員	5	4	3	7	3	22
利用者現員 (予定含)	2	4	3	7	3	20
職員数 (常勤換算)	1	1	1	2	1	6
利用料(家賃相当分)	53千円					
バックアップ施設	アンカー					

事業種別	レモン	鹿島ホーム	小計2	合計
利用者定員	4	4	8	30
利用者現員 (予定含)	4	3	7	27
職員数 (常勤換算)	1	1	2	8
利用料(家賃相当分)	53千円	53千円		
バックアップ施設	アンカー	すまいる		

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 古道ヶ丘事業計画（案）

1. 運営方針

- ・施設利用者の自立を促し、それに沿った支援を個別に行える体制を整える。
- ・地域との取り組みを積極的に行い、障害者の理解を深める活動を行う。
- ・地域に潜在的に孤立している障害者の掘り起こしを行い施設利用につなげる。
- ・本宮くまのこ作業所と連携した取り組みを行う。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 田辺市委託管理事業（宿泊施設の維持管理）

- i 指定管理の更新から 2 年目、来年度で最終とする。
- ii 宿泊施設の運営は、ネット予約を取りやめ、電話予約のみとし、お客さんの利用を調整し、対応しやすい体制・日程とする。

(2) 授産事業

- i 内職作業はダイソーの作業を中心に行う。(IPPINKA) の作業が定期的に行えるようになってきたので 2 種類を柱に作業を行う。
- ii 野外作業は高齢者の方が増えているので、危険のない範囲で行う。

② 生活支援活動

- (1) 年 1 回の健康診断を実施する。
- (2) 防災計画に基づき年 2 回の防災訓練を実施する。
- (3) 相談体制の連携（社協・地域包括・にじのわ）を図る。
- (4) 利用者自治会の育成に努める。（レクリエーションの企画など）

③ 個別処遇関係

- (1) 職員・利用者が共通認識できる個別支援計画の作成に努め、利用者のニーズに沿ったものとし、作業技術のスキルアップを目指す。
- (2) SST（社会生活技能訓練）をとりいれ、社会生活の質向上を目指す。

③ BCP（事業継続計画）

- (1) 自然災害発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。

(2) 感染症等発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。

3. 地域貢献及び地域交流活動

(1) 町民運動会・バザーなど地域行事に積極的に参加する。

(2) 施設を小中学校に開放し見学会・演奏会やボランティア活動の場を提供する。

4. その他の活動

(1) コロナ対策マニュアルを遵守し、利用者・職員の安心安全を確保する。

(2) 職員の直接処遇技術向上のため各研修に参加する。

(3) 職員のメンタルヘルスケアを心がけ、ストレスのない職場づくりを行う。

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	花見	
5月		
6月	防災訓練	
7月	清姫祭り	
8月	お盆休み	
9月	夏のお疲れさん会	
10月	町民運動会	
11月	旅行、ソフトボール大会	
12月	クリスマス会	
1月	初詣、健康診断	
2月	ふれあい文化祭、防災訓練	
3月	古道歩き	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援B型
利用者定員	30人
1日平均利用者	19人
職員数(常勤換算)	6人(3.5人)
年間稼働日数	239日+休日開所日数21日 総計260日
授産科目(支援科目)	・田辺市委託作業(保養所維持管理作業) ・授産事業(内職作業など)
目標工賃	月額7,000円
1日のスケジュール	8時30分 送迎 10時00分 朝礼・ラジオ体操 10時15分 作業 12時 昼食・休憩 13時 作業 15時 館内清掃 15時15分 終礼 15時30分 送迎

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 本宮くまのこ作業所事業計画（案）

1. 運営方針

- ・ 古道ヶ丘と協力して一体的な運営を行う。
- ・ 在宅障害者の地域生活支援について、居宅生活上の援助を行うとともに、障害福祉の拠点として地域に根ざした取り組みを行う。
- ・ 計画相談・地域相談などの実施を関係機関と協力し取り組む。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 清掃作業

- i 地域から受託した清掃作業（3ヶ所）を行う。

(2) 授産事業

- i 内職作業（箱折り、備長炭の梱包・発送作業）新しい作業を追加する。
- ii 自主製品（アクリルタワシ）を作成する。
- iii 地域のバザーに積極的に参加する。

② 生活支援活動

- (1) 年 1 回の健康診断を実施する。
- (2) 防災計画に基づき年 2 回の防災訓練を実施する。
- (3) 相談体制の連携（社協・地域包括・にじのわ）を図る。
- (4) 糖尿病や肥満の方に対応した給食を提供する。

③ 個別処遇関係

- (1) 職員・利用者が共通認識できる個別支援計画の作成に努め、利用者のニーズに沿ったものとし、作業技術のスキルアップを目指す。
- (2) SST（社会生活技能訓練）をとりいれ、社会生活の質向上を目指す。

④ BCP（事業継続計画）

- (1) 自然災害発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。
- (2) 感染症等発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 毎週月曜日、地域ボランティアが行うゆる体操に参加する。
- (2) 各拠点に設けてあるアルミ缶回収場所の回収作業を実施する。
- (3) 年 2 回、本宮女性会との花植えを実施する。

4. その他の活動

- (1) コロナ対策マニュアルを遵守し、利用者・職員の安心安全を確保する。
- (2) 職員の直接処遇技術向上のため各研修に参加する。
- (3) 職員のメンタルヘルスケアを心がけ、ストレスのない職場づくりを行う。
- (4) 地域の方々に作業所活動を認知してもらうために月1回の田辺市広報を活用する。
(※くまのこだよりの発行)

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	花見	
5月	ボウリング	
6月	防災訓練	
7月	調理実習	
8月	ドライブレク	
9月	古道合同 BBQ 健康診断	
10月	一泊旅行 法人運動会	
11月	ソフトボール大会 こだま祭り	
12月	クリスマス会	
1月	初詣 法人新年会	
2月	ふれあい文化祭 防災訓練	
3月	ドライブレク	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援 B 型
利用者定員	10 人
1 日平均利用者	7 人
職員数（常勤換算）	4 人（2.5）
年間稼働日数	239 日+休日開所 21 日 総数 260 日
授産科目（支援科目）	・清掃作業 ・バザー ・授産作業 ・自主製品
目標 工賃	月額 7,000 円
1 日のスケジュール	8:00 送迎 9:00 送迎 9:50 朝礼 ラジオ体操 10:00 作業 11:30 送迎 12:00 昼食 休憩 13:00 作業 15:00 送迎 ※金曜日 館内清掃

【グループホーム】

令和6年度 こどうの家・第2こどうの家事業計画（案）

1. 運営方針

- ・利用者一人一人の声に耳を傾け、個別支援に力を入れる。
- ・職員間で利用者の課題を共有し統一した支援ができるようにする。
- ・健康で楽しい生活が送れるように体調管理を徹底する。
- ・古道ヶ丘や本宮くまのこ作業所と連携しホーム以外の状況も把握する。
- ・利用者の自立を促し、個々の生活力を高めるための支援を心がける。

2. 事業内容

① 生活支援活動

- (1) 給食サービス（夕食）の提供、入浴サービス（毎日）の声掛けを行う。
- (2) 外出支援（買い物、病院への受診同行支援など）を行う。
- (3) 利用者からの生活相談へ助言を行い、自立に向けた支援を行う。
- (4) 行事計画に基づき、季節行事や買い物支援など余暇活動の支援を実施する。
- (5) 自治会活動支援を実施（定期的な自治会の開催やレクリエーション等の企画、実施）し利用者主体の取組を行う。
- (6) 夜間相談支援（当直職員の配置により緊急時の対応と遅い時間の相談等に対応する）を行い、利用者の安全安心に取り組む。
- (7) 防災計画に基づく年2回の防災訓練の実施と備蓄品の準備を行う。
- (8) インフルエンザ予防接種を実施し予防、健康管理を行う。

② 個別処遇関係

- (1) 個別支援計画を作成し、一年を通して、生活の質向上をめざす。
- (2) 金銭管理サービスや服薬管理サービス、通院支援を実施する。
- (3) SST（社会生活技能訓練）を取り入れ、社会生活技能のスキルアップを目指す。
- (4) 家族との連携を深め、協力関係を構築する。

③ BCP（事業継続計画）

- (1) 自然災害発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。
- (2) 感染症等発生時には、事業継続計画に沿った施設対応を行う。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 町内会活動や地域行事へ積極的に参加する。

4. その他の活動

- (1) コロナ対策マニュアルを遵守し、利用者・職員の安心安全を確保する。
(2) 職員の直接処遇技術向上のため各研修に参加する。
(3) 職員のメンタルヘルスケアに心がけ、ストレスのない職場づくりを行う。
(4) 紀南こころの医療センターと連携し、退院支援等を行う。
(5) 居室に空きが出た場合は、利用を希望する方への体験入所の実施を行う。

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	花見	
5月	調理実習	
6月	カラオケ	
7月	ボウリング	
8月	川遊び	
9月	ショッピング 防災訓練	
10月	ドライブ	
11月	BBQ インフルエンザ予防接種	
12月	調理実習	
1月	正月夕食外食	
2月	ふれあい文化祭	
3月	防災訓練	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	こどうの家 (男性)	第2こどうの家 (女性)
利用者定員	5名	6名
利用者現員	5名	6名
職員数 (常勤換算)	6人 (3.23人)	
利用料 (家賃相当分)	1万5千円 (家賃のみ)	2万円 (家賃のみ)
バックアップ施設	古道ヶ丘、くまのこ	古道ヶ丘、くまのこ

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 龍の里作業所事業計画（案）

1. 運営方針

利用者の特性に合った作業を提供し、その能力の向上をめざすとともに生活や健康状態の把握に努め、個々のニーズに沿えるよう学習理論などを活用し科学的な視点に基づいた支援を実施する。そして相互に人格を尊重できる集団づくりをめざし、他の事業所や関係機関との連携を積極的に行い、豊かな生活を送れるよう支援する。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 内職作業

- I. スポンジたわしの組み立て、包装
しいたけ用ビニール袋のシール貼り

(2) 自主製品の製造

- I. よもぎの葉の製造販売
道の駅や村内のショップ等を中心に販売。
- II. 焼き菓子の製造販売
村内のショップや売店ピュア、アンテナショップにて販売。
- III. 龍神杉のコースターの製造販売
道の駅や村内のショップ等を中心に販売。
- IV. きのコストラップの製造販売
道の駅や村内のショップ等を中心に販売。

(3) 農作業…自然薯の生産販売

(4) 受託作業…高齢者宅の清掃、農作業手伝い、花いっぱい運動等

(5) 実習…(株)龍神マッシュでの作業実習

(6) 販売活動…そうめん、うどん、チョコレート等

(7) リサイクル…アルミ缶回収、古着回収

(8) 就労者への支援（龍トピア、季楽里龍神、龍神マッシュ）

② 生活支援活動

(1) 健康診断の実施

- I. 保健師の健康指導により、食生活や運動習慣の改善について支援する。

(2) 日常生活自立支援事業による金銭管理の助言等、生活課題における社会資源活用に

ついでに支援を行う。

- (3) 感染症予防に努め、安全な対策を講じる。

③ 個別処遇関係

- (1) 個別支援計画に基づいた就労・生活支援を行う。
- (2) 関係機関との連携による就労・生活支援を実施する。
- (3) 定期的な面接や必要に応じて家庭訪問を実施し、家族関係の調整を行うことで利用者個々の状況を把握していく。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 民生委員との交流会（グラウンドゴルフ大会等）
- (2) 高齢者大会の舞台発表での参加
- (3) 地域の在宅者、家族会との交流（田辺市自発的活動支援事業等の活用）

4. その他の活動

- (1) 避難訓練…年2回
- (2) 防災学習…被災時の備えや連絡方法などの学習会を実施する。

5. 行事計画

月	行事内容等	備考
4	花見	
5	新庄公園レク	
6	避難訓練	
7	健康診断（40歳以上）、買い物レク	田辺市特定健診
8	大掃除	
9	グラウンドゴルフ大会、敬老会、高齢者交流会	
10	日帰りバス旅行	
11	翔龍祭、やおき運動会	
12	忘年会、大掃除、健康診断（39歳以下）	
1	初詣、やおき新年会	

2	ふれあい文化祭	
3	買い物レク、避難訓練	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援 B 型	
利用定員	20 人	
1 日平均利用者数	14 人	
職員常勤換算配置数	5.2 人	
年間稼働予定日数	総稼働日数 260 日	休日開所日数 21 日
授産科目及び授産収入	科目	収入 (円)
	内職作業	400,000
	自主製品の製造	700,000
	受託作業、実習	1,800,000
	農作業	500,000
	販売活動	150,000
	リサイクル	50,000
	合 計	計 3,600,000 円
目標工賃 (一人当たり)	13,000 円/月	
1 日のスケジュール	8 : 30 職員朝礼 8 : 40 送迎 9 : 20 体操、朝の会 9 : 30 作業 10 : 30 休憩 (10 分休憩) 12 : 00 昼食、休憩 13 : 00 作業 14 : 00 休憩 (10 分休憩) 15 : 10 清掃・終わりの会 15 : 30 終了	利用者の就労状況に応じて行う。

【地域活動支援センターⅢ型事業】

令和6年度 かしのみ事業計画（案）

1. 運営方針

地域活動支援センターかしのみは、上富田町内在住者を主として西牟婁圏域での福祉サービスに馴染みにくい方々を対象とする。、医療・保健機関等との連携を継続しながら生活力の獲得、レクリエーション等へのかかわりを持つことからの意欲獲得、集団への参加、対人関係等の力を育むことを目標として、社会との交流促進等の便宜の供与を行うものとする。

2. 事業内容

事業種別：地域活動支援センターⅢ型

委託契約：上富田町

利用定員：10名程度

職員配置：管理者1名（兼務）

生活・作業指導員2名（専任）

① 就労支援活動（基礎的事業）

内職活動：シール貼り、小学生学習資材組立

自主製品：農事、プランター等での野菜等の生産

②生活支援活動

余暇活動支援、レクリエーション・スポーツ他

生活にかかる実習等の支援、調理実習・買い物支援他

③個別処遇関係

生活相談、サービス事業所見学他

3. 地域交流・地域貢献活動

圏域内催し物への参加

4. その他の活動

防災訓練等

5. 行事計画

年月	行事内容等	備考
4月	農事作業	
5月		
6月	梅取り作業	
7月		
8月	BBQ	
9月	防災訓練	
10月		
11月		
12月	クリスマス	
1月		
2月		
3月	防災訓練	

利用者希望による昼食支援に関しては毎日独自の給食活動を全額自己負担（別会計）で行う。施設広報に関しては、職員作成のフェイスブック・インスタグラムを活用し日々の活動内容の掲載を継続。

6. 数値指標

事業種別	地域活動支援センターⅢ型	
利用者定員	10名	
1日平均利用者	7名	
職員数（常勤換算）	2人 +（管理者1名）	
年間稼働日数	240日	
授産科目（支援科目）	なし	
目標工賃	なし	
1日のスケジュール 個別に応じる。	9：00 来所 サロン利用・作業 12：00 昼食 サロン利用 （レク参加） 16：00 帰宅	9：00 送迎にて来所 サロン利用 12：00 昼食 （送迎帰宅）

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 か～む事業計画（案）

1. 運営方針

- ・利用者が地域で安心して充実した生活が送れるよう、就労の機会を提供しつつ、レクリエーションや生活プログラムを交えながら、一人一人の知識や能力の向上、精神的な安定が図れるよう支援する。
- ・利用者の状態や障害特性に応じた作業機会を提供していけるよう、作業の分別化、作業に関わりやすい環境づくりに努めていく。
- ・新規利用者を増やす取り組みとして、支援学校を卒業した利用者の保護者との関係作りを行い、支援学校からの新規利用者を増やしていく。また、パンフレット作成に力を入れ、各関係機関への訪問時に事業所の取り組みを説明して、見学者、体験利用者を増やしていく。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 内職作業

- i 亀井商店・・・商品の包装、箱詰め、テープ貼り
- ii 福梅本舗・・・箱折り、シール貼り、商品の箱詰め
- iii オリムピック・・・保証書の袋入れ、シール貼り、釣り竿の梱包材

(2) 受託作業

- i 草引き作業・・・白浜町内で受託を受けた場所での草引き作業
- ii ペットボトル作業・・・ペットボトルのキャップ外し、ラベルはがし
- iii 運搬作業・・・やおき工房の給食運搬
- iv 洗車作業・・・作業所関係者の車の洗車、車内掃除
- v 便利屋作業・・・サッシの張り替え、引越しの手伝い、お墓掃除他

(3) 販売活動

- i ジュース販売・・・作業所内での販売
- ii 自販機・・・作業所の敷地内での販売
- iii 物品販売・・・そうめん、ちゃんぽんの販売
- iv バザー活動・・・地域の催しでの食品販売、物品販売

② 生活支援活動

- (1) 利用者の日常生活能力の維持、向上を目的として館内清掃や調理実習、昼食の配膳、

食器洗い等の活動を行う。

- (2) ラジオ体操や散歩などをプログラムに取り入れ、利用者の健康増進のための取り組みを行う。また、健康診断を実施し、利用者の健康状態の把握に努める。
- (3) 日常生活の改善や充実のため、買い物支援を定期的実施する。
- (4) 日々の体調確認や手洗い、うがい、アルコール消毒などの感染対策を実施する。また、インフルエンザ予防接種の同行支援を行う。
- (5) 服薬支援の必要な方に対して、昼食時の服薬の確認や服薬の準備等の支援を行う。

③ 個別処遇関係

- (1) 利用者の意向や課題を確認しながら支援計画書を作成し、定期的に見直しを行う。
- (2) 利用者の日々の状態を把握し、生活相談や必要に応じて医療機関の受診同行、家族、関係機関と連携した支援を行っていく。
- (3) 利用者に就労意欲の向上が見られた際には、関係機関と連携して他事業所への移行を支援する。
- (4) 通所が滞った利用者に対しては、関係機関と連携しつつ、電話連絡や訪問支援を行い、事業所とのつながりを維持しながら通所意欲を高められるよう支援する。また、家族の協力が得られるよう電話連絡や家庭訪問の実施に努め、意見交換の機会を設けていく。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) 町内会の加入を継続していき、地域行事の参加にも協力していく。
- (2) アルミ缶回収を通して地域住民との交流機会を持つ。
- (2) 地域での催しやバザーへの参加を通じて、地域交流の中で法人や事業所に対しての認知度向上に取り組んでいく。

4. その他の活動

- (1) 月 2 回の土曜日開所を継続して、利用者への作業機会の提供や余暇支援の提供を行う。
- (2) 自力で通所が困難な方に送迎を実施する。また、身体的に不自由な方は、家から送迎車までの見守り、同行、介助支援を行う。安全運転に努め、定期的な車両点検を実施する。
- (3) 年 2 回の防災訓練を実施する。津波を想定した避難訓練については毎年実施する。訓練時に防災物品の点検を行い、使用期限が近い物品の入れ替えと防災物品の見直しで必要物品があれば追加購入を行う。
- (4) 職員の経験や知識に応じた外部研修に積極的に参加していく。

5. 行事計画

月	行事内容等	備考
4	花見	※毎週木曜日の午後はレクリエーションの日にしており、利用者からの意見を募り、レクリエーションの企画と提供を行う。
5	こいのぼり祭り	
6	1日レク（イオン）	
7	バーベキュー	
8	かき氷、大掃除、町内会夏祭り	
9	班別レク	
10	防災訓練	
11	紅葉	
12	クリスマス会&忘年会、大掃除	
1	初詣	
2	ふれあい文化祭、観梅、防災訓練	
3	健康診断、忘年度会	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援 B 型	
利用定員	20 人（登録者 24 名）	
1 日平均利用者数	17 人	
職員数（常勤換算）	5 人	
年間稼働予定日数	総稼働日数 260 日	休日開所日数 21 日
授産科目及び授産収入	科目	収入（円）
	内職作業（亀井、福梅、オリムピック）	1,000,000 円
	受託作業（給食運搬、ペットボトル他）	700,000 円
	販売活動（ジュース、バザー他）	700,000 円
目標工賃 （一人当たり）	月額 10,000 円	

1日のスケジュール	8：40～送迎 10：00～朝礼、ラジオ体操、散歩 10：10～掃除（火、金） 10：20～作業（10分休憩） 11：05～作業 13：00～昼礼、作業（10分休憩） 13：55～作業 14：50～終礼 15：00～送迎 ※作業時間は1クール45分間	利用者の実習、就労状況に応じて行う。
-----------	--	--------------------

【就労継続支援 B 型・就労定着支援】

令和 6 年度 すまいる事業計画（案）

1. 運営方針

地域（みなべ町）で充実した日常生活、社会生活を営むことができる地域福祉の実現に向け、行政、関係機関とともに考案し積極的に取り組む機関としての役割を担う。運営は、日中活動を中心とした就労継続支援 B 型を実施する。活動は、主に生産活動、生活支援（自立訓練も含む）を提供し、日常生活を営む上で必要な生活リズムの習慣に繋げ、生活の質の向上に繋がる支援を行う。また、相談事業を行う事業所として共生社会を構築していくためにも、福祉サービスに限らずサポートが受けられるネットワーク作りにも取り組んでいく。

2. 事業内容

① 就労支援活動

(1) 就労継続支援 B 型

- I 施設内作業（箱折り・梅加工・包装）の生産活動の提供を行い、仕事する上での基礎（集中力・気力・体力・仕事場でのルール）の習得に繋げる。
- II 施設外作業（梅加工業・清掃業・農事作業）の機会を提供し、作業から就労へのステップアップに繋げる取り組みを行う。
- III 内職代の賃上げ、実習代の時給交渉、地域密着での新しい取り組みを検討し、目標工賃アップに繋げる取り組みを行う。
- IV 就労支援関係機関（アンカー）と月 1 回会議を開催し、就労希望がある利用者の情報交換、共有を行う。就労に向けての支援調整、確認後、アンカー実習に参加し、一般就労への意欲向上に繋げ、必要な際は、求職活動等相談に乗り支援する。

(2) 就労定着支援

就労定着している利用者との面談、企業訪問（月 1 回）を行い、雇用に伴い生じる日常生活又は社会生活での問題に関する相談、指導及び助言を行う。

必要な際は、事業所、関係機関、医療機関と情報交換、共有し、支援内容を調整し、就労の定着に繋げる支援を行う。※就労定着利用予定者 2 名

② 生活支援活動

- ・自治会活動の取り組み（余暇活動等）への協力と助言
- ・衛生面 - 必要な身だしなみ（歯磨き・洗髪・髭・爪・服装・持ち物等）の確認を

通所時に行い、日常生活の習慣化に繋げる。

施設の美化活動に参加し、衛生面の安全に繋げる支援。

- ・給食提供 - 平日は、給食提供を行い、単身生活者等の栄養面のサポートを行う。給食の後片付けは、毎日当番制で食器洗い、ごみ捨て、分別、給食室の部屋掃除に参加し日常生活能力の維持、向上に繋げる支援を行う。
- ・経済面 - 自立していく取り組みの中で買い物支援、金銭管理の相談を行う。障害者基礎年金申請の際は、相談に乗り申請の手続き支援を行う。
- ・移動支援 - 来年度送迎範囲を縮小するため、個々に公共交通機関を利用した移動練習等を行う。また希望がある利用者は、本人、家族と話し合い原付バイク、普通自動車運転免許取得に向けての学習支援を行う。
- ・医療サポート - 体調面に変化がある際は、本人、家族と話し合い早めの受診を促し早期発見、早期治療に繋げる。必要な際は、受診同行し主治医と情報交換、共有を行い、服薬の声掛け、見守りを行う。

③ 個別処遇関係

- ・個別支援計画を作成し、本人の目標、支援内容の定期的な見直しを行う。また家族、支援者の意向も聞き取り、必要な際は、支援内容の調整を図る。
(就労継続支援 B 型 6ヵ月毎・就労定着支援 3ヵ月毎)
- ・利用者の日々の生活状況の把握に努め、安定した通所、日常生活の安定に繋げる支援を行う。必要な際は、医療機関への受診同行、関係機関との連携会議を開催し支援内容の調整を行う。

(3) 指定特定相談事業

I 計画相談事業

主にみなべ町に在住している障害者の福祉サービス利用の希望がある方への相談を行う。必要な際は、本人、関係機関、医療機関との話し合いを行い福祉サービス利用調整し、福祉サービス利用に繋げる支援を行う。

II 福祉サービス終了後の相談者の相談は、本人のニーズを聞きとり西牟婁圏域障害児・者相談センターにじのわ委託相談事業に繋げる支援を行う。必要な際は、連携し福祉サービス利用の調整を行う。

3. 地域貢献及び地域交流活動

- (1) みなべ町内福祉事業所との交流会
- (2) 商工会活動への参加
- (3) 地域のバザー開催時の参加

4. その他の活動

- (1) 法人内、外（自立支援協議会就労支援部会主催等・自立支援協議会相談支援部会主催等）研修会への参加
- (2) 年1回の健康診断（はまゆう病院）と生活習慣病予防の取り組み
- (3) 年2回の防災訓練の実施と地域防災訓練への参加
- (4) 年1回防犯訓練の実施

5. 行事計画

月	行事内容等	備考
4	歓迎会・花見	
5	調理実習 スポーツレクリエーション	
6		梅収穫時期で繁忙期のため、余暇活動なし
7	避難訓練	
8	納涼会・BBQ	
9	調理実習 健康診断	
10	防犯訓練 すまいる運動会	
11	紅葉狩り	
12	クリスマス会	
1	初詣 新年会（お雑煮ふるまい） 調理実習	
2	豆まき・観梅 スポーツレクリエーション	
3	避難訓練 すまいる旅行・すまいる球技大会	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援 B 型	就労定着支援	
利用定員（予定者）	25 人（23 人）	（2 人）	
1 日平均利用者数	22 人		
職員数（常勤換算）	8 人（5.8 人）		
年間稼働予定日数	総稼働日数 260 日 （休日開所日数 21 日）		
授産科目及び授産収入	科目・収入（円）		
	内職作業		3,480,000
	受託作業		636,000
	職場実習		2,508,000
	バザー		4,000,00
	計		7,024,000 円
目標工賃 （一人当たり）	月額 20,000 円		

1 日のスケジュール	9：00 朝礼・ラジオ体操 9：10 作業・職場実習 （15 分休憩） 12：00 昼食 13：00 作業・職場実習 （15 分休憩） 15：30 館内清掃・終礼 16：00 終了	利用者の就労状況に応じて行う。 ※金曜日は、職員会議のため 15：00 終了
------------	---	---

【就労継続支援 B 型】

令和 6 年度 いなづみ作業所事業計画（案）

1. 運営状況

昨年度に 4 名の退所者が出て定員割れの状態が続いている。

一方で、生活面での支援が必要な方が増えてきており、トイレの失敗による着替えの準備や病院の同伴受診等の業務が増えてきている

作業面では利用者の高齢化が進み、足や腰に痛みを訴える方が増えてきたため主な収入源であった施設外での作業が受託できなくなっている。

代わりに昨年度より屋内での内職作業への切り替えを進めているが、利用者自身が内職作業に慣れていないので作業に携われる方がまだまだ少ない。

2. 事業内容

① 就労支援活動

今年度より本格的にメインの作業を内職作業へシフトしていく。

(1) 受託作業

i. 洗車作業

やおき工房の公用車と、すさみ社協の公用車の洗車のみ行う予定。

ii. お墓の掃除

お墓の場所は階段が多いので、参加できる利用者がかかり限定されるが、今のところ契約数が少ないので継続していく予定。

iii. 洗濯作業

社協のデイサービスを利用している方の洗濯を継続して受託する予定。

iv. ソーラー発電所の管理

平坦な場所での草引き作業がメインなので継続して受託する予定。

v. そうめん販売

美味しいと好評を頂いているので 6 年度も継続する予定。

(2) 自主製品

i. EM ボカシの製造

家庭菜園をされている方に人気があり、まとめて買いに来て下さるお客様もいらっしゃるので引き続き生産する予定。

ii. リサイクル石鹸

危険な薬品を使うため、製造工程ではあまり利用者が関わることはできないが、包装やシール貼りの作業に従事して頂く。

iii. 野菜づくり

駐車場わきの畑で野菜を育てているが生産数が少ないので販路が確保できていない。今年度から内職作業を増やすため生産量を増やすことはできないが、身体を動かすことが苦手な利用者の良い運動になるので継続していく。

(3) リサイクル作業

石橋区、防地区のダンボールやアルミ缶などのリサイクル物品を選別して回収業者に引き渡す。比較的ゆっくりできる作業なので今年度も引き続き作業する予定。

(4) 内職作業

高齢化に伴い、関わりやすい作業内容へ移行できるよう取り組んでいる。体力や腕力よりも指先を使う作業をこなす中で、より効率的な工程を考えてもらうことによって認知力を維持するリハビリ効果のある作業を提供していきたい。まずは多くの利用者に気軽に関わってもらえる環境作りに専念していく。

(5) 販売事業

i. 島原そうめん、ちゃんぽんの販売

好評なので本年度も実施予定。

ii. 事業所内での飲料の販売

なるべく低カロリーで低糖質なコーヒーや栄養ドリンクなどを利用者向けに安く販売する。

② 生活支援活動

高齢化により生活支援の需要は大変高まっている。特に体調の悪化を上手く伝えられない利用者には注意深い見守りと、通院の手助けが必要になってきている。

(1) 健康診断

年に1度、健康診断に同行し確実に検査を受けてもらえるよう支援する。その結果をもとに、食事の内容や喫煙等のアドバイスをしていく。必要があれば病院への受診を促す。

(2) 買物支援

医師から食事制限の指示がある利用者や、減量の必要がある利用者、また金銭管理等

の観点から購入する物品や金額に規制のある利用者については、週に一度近所のスーパーへの買い物に同行し、内容や金額についてアドバイスをする。町内で購入できない物については、通販での代理購入を行う。また、年に数回レクリエーションの一環として、田辺市内への買い物ツアーも行う。

(3) 受診同行

医師とのコミュニケーションが難しいメンバーや、医師からの説明を上手く伝えられないメンバーについては受診に同行し支援する。

国保すさみ病院が移転して遠方になったため、送迎を行う。

紀南こころの医療センターへの同行については、「にじのわ」が担当している。

(4) 服薬管理

自力での服薬管理が困難なメンバーについては、作業所内で服薬できるよう医療機関と連携し、できるだけ所内にいる時間内に飲めるよう調整してもらう。

また、眠剤などどうしても自宅で飲まなければならない薬については、ヘルパーと連携して服薬確認をしてもらう。

③ 個別処遇関係

毎日のミーティング時に共有すべき利用者情報を報告し、週に一度の職員会議にてメンバー全員について一人ずつ問題の整理と目標の達成具合を確認する。

それらを元にしてメンバーのニーズに合った個別支援計画を立て、支援については立てられた計画に沿って行い、目標達成と問題解決を目指す。

3か月に1度、身体拘束適正化委員会を開催し、全ての利用者に対し身体拘束の必要性を話し合い、議事録を残す。

設置している苦情受付箱に苦情が入れられた場合は、法人が開催する苦情解決担当者会議に提出し、情報共有をして解決を図る。

3. 地域交流・地域貢献活動

バザーでの販売や便利屋での作業を通じて、地域の皆さんにいなづみ作業所の存在を知ってもらい、困りごとの相談をして頂けるよう活動していく。

また、障害者用の避難施設として、非常食や飲料水、寝具等の備品の整備をすすめていく。

4. その他の活動

(1) 防災・防犯訓練

災害を想定した避難訓練を年に2回行い、避難ルートやメンバーの能力などを確認

し、災害時には全員が避難できるよう対策を立てる。

また、不審者の侵入を想定した防犯訓練を行い、利用者の避難誘導をスムーズに行える体制を整える。

(2) 自治会活動

利用者によって選出された自治会長の主導により、旅行やレクリエーション、休日開所日のプログラムなどへのメンバーからの要望を募り、話し合いによってまとめてもらい、事業運営上の参考にする。

(3) レクリエーション

自動車の運転や公共交通機関の利用が難しい利用者にとっては、娯楽のための移動や外食が困難であることを鑑み、月に1度を目安に、「自分で稼いだ工賃を自分で使う楽しみ」を体感してもらい、作業に対するモチベーションの維持を狙って、主に買い物や外食、近場の観光のレクリエーションを実施する。

また、新型コロナの影響で4年間行けていない旅行も、できるだけ行けるよう努めたい。

5. 行事計画

月	行事等	備考
4	弓矢八幡神社チャリティーバザーへの参加	今年より再開
5	旅行	
6	防災・防火訓練	
7	買物・観光レク	
8	買物・観光レク	
9	買物・観光レク	
10	野外バーベキュー	ボラ事業
11	すさみ町町民運動会への参加	
12	忘年会、大掃除	
1	初詣、新年会	
2	防火・防災訓練	
3	次年度自治会役員選出	

6. 数値指標

① 施設概要

事業種別	就労継続支援B型	
利用予定定員	20人	
1日平均利用者数	14人	
職員常勤換算配置数	4.4人	
年間稼働予定日数	総稼働日数 260日	休日開所日数 21日
授産科目及び授産収入	科目	収入(円)
	受託作業	290万
	自主製品	10万
	内職作業	70万
	物品販売	20万
	リサイクル	25万
	その他	10万
		計 425万円
目標工賃 (一人当たり)	月額 20,000円	